

# 地球

第四卷第三號

大正十四年九月一日發行

## 主要目次

但北地震の震源の深さと震源の性質に就て……………  
理學士 熊谷直一

東亞地質構造論から觀た地震現象の説明(下)……………  
理學博士 小川琢治

古代四國の聚落到就て……………  
文學士 小牧實繁

關東大震災と神戸港……………  
西龜正夫

世界に於ける魔術の分布(三)……………  
夏見寛治

地理教材としての地形圖(十四)加古川附近……………  
陸地測量部地形科

千島及北海道地形測量餘談……………  
F.G.スミス

談叢……………  
F.G.スミス

死の河の探檢……………  
F.G.スミス

講話……………  
F.G.スミス

朝鮮地名の考説(三)……………  
理學士 中村新太郎

雜報……………  
理學士 中村新太郎

新刊紹介……………  
理學士 中村新太郎

質疑應答……………  
理學士 中村新太郎

京都帝國大學理學部

地質學教室內

地球學團

# 火山號(第四卷第四號)豫告

圖版——櫻島(三色版)、白頭山、阿蘇噴火孔

火山の性質に就いて

題 未 定

櫻島火山

笠山雜觀

硫 黃 島

寒 風

大山紀行

ベスピアス登臨記

濟州火山島

理學博士 小川 琢 治

理學博士 神 津 徹 祐

理學士 石 川 成 章

文學士 小 牧 實 繁

理學士 本 間 不 二 男

理學士 榎 山 次 郎

..... 松 下 進

理學博士 松 山 基 範

理學士 中 村 新 太 郎

○日本火山文獻誌○富士山の高さ○布哇マウイ島の地質○富士山の自然界○薩南諸島の地形圖

# 地球

第四卷  
第三號

# 地球

## 第四卷 第三號(九月號) 目次

但北地震の震源の深さと震源の性質に就て……………理學士 熊谷直一 (一八)

東亞地質構造論から觀た地震現象の説明(下)……………理學博士 小川琢治 (一九)

古代四國の聚落に就て……………文學士 小牧實繁 (二〇)

關東大震災と神戸港……………西龜正夫 (二七)

世界に於ける魔術の分布(三)……………夏見寛治 (三四)

地理教材としての地形圖(十四)加古川附近……………(三九)

千島及北海道 地形測量餘談……………陸地測量部地形科班員 (四三)

### 談叢

死の河の探檢……………F・G・スミス (四九)

### 講話

朝鮮地名の考說(三)……………理學士 中村新太郎 (四三)

## 雜報

- 岡山支部近況
- 市俄古大西洋連絡新航路
- 伊太利の水力電氣
- ロスアンゼルス的發展
- イラツク近況
- 笠置山近傍の地形
- 一八七一年以後世界生絲產額
- 新金礦トモツト事情
- シリア近狀
- 西比利亞毛皮
- 大きな月の圖
- アングライト產地訂正
- 秋田縣に新溫泉を發見す
- 丹後但馬震災地方海面調査の結果
- 太平洋の資源

## 新刊紹介

- 外國地理掛圖第一輯 小川 琢治著
- 岩石地質學 佐藤 傳藏著
- 地文學講義 石川 成章著
- 世界産業地理要論 左海 猪平著
- 北アメリカに於ける氷河の跡 〇萬縣
- ノーム
- タンピコ

## 質疑應答

前號(第四卷第二號)要目

圖版 第四版但北地震——圓山川河口と田結の震害

第五版 スピツメルゲンの海岸

東亞地質構造論から觀た地震現象の説明(上)…………… 理學博士 小川 琢治

日本白堊紀三角介砂岩中の化石帶…………… 理學博士 矢部 長克

極地の群島スピツベルゲン…………… 理學博士 井上禧之助

世界に於ける魔術の分布(二)…………… 夏見寛治

伯林だより(ペンク教授の近況)…………… 文學士 寺田貞次

地理教材としての地形圖(十三)…………… (十和田湖)……………

談 叢

中世風流跡の名殘…………… 鶴岡學人

講 話

朝鮮地名の考説(二)…………… 理學士 中村新太郎

雜 報

新刊紹介

質疑應答

前々號(第四卷第一號)要目

圖版 第一版 日本海等深圖

第二版 但北地震浸村砂丘の沈海と田結の斷層

第三版 但北地震々害分布圖

但北地震踏査記…………… 理學士 石川成章 理學士 本間不二男  
理學士 榎山次郎 理學士 上河善雄

一、踏査日程 二、地震現象 三、海水面の異常

四、地下水の異常 五、崩 壞 六、道路及田圃の龜裂

七、石燈籠の顛倒及廻轉 八、家屋の被害 九、被害の程度  
阿波の隆起海岸…………… 文學士 小牧實繁

エミルアルガン氏…………… 理學博士 小川 琢治

亞細亞構造論……………

日本近海の深さ(二)……………

世界に於ける魔術の分布(一)…………… 夏見寛治

立 山…………… 愛 山 生

地理教材としての地形圖(十二)槍ヶ岳附近……………

談 叢  
紀伊水道津浪の古記録(一)…………… 如舟老人

講 話

朝鮮地名の考説(一)…………… 理學士 中村新太郎

雜 報  
新刊紹介  
質疑應答  
第三卷 總目錄……………

# 地球學園規約

- 第一條 本學園を地球學園といふ。
- 第二條 本學園は地球に關する學術的研究を進め兼て同好の士の親睦をはかるを目的とする。
- 第三條 事務所を京都市白川道分町京都帝國大學地質學教室内に置く。又會員が多い地方には支部を置く事がある。
- 第四條 本學園の專業は次の如くである。  
雜誌並に圖書の刊行  
雜演並に講習會の開催  
實地見學の指導
- 第五條 本學園員は地球購讀費として一年分六圓又は半年分三圓を學園員へ前納する事。
- 第六條 本學園員になりたい人は、住所職業氏名を申込み、同時に地球購讀費半年分以上を、發行所へ送金する事。
- 第七條 學園を脱退しやうとする者は、其の旨を學園に通知すること。

## 註文規定

- 購讀者の御註文及び廣告に關する件は内外出版株式會社へ御申込下され度候
- 本誌の御註文はすべて代金郵税共前金にて御送り下さるべく候
- 振替貯金にて御送金は、振替大阪三二九五番三九三一番東京三九三一番内外出版株式會社宛に願上候
- 前金切れの場合に帶封に「前金切」の印章捺捺致すべくに付直に御拂込下され度候
- 特に請求書及領收書等を要する場合は郵券差額御送付下され度候

## 定價

一册	定價金五十錢	郵税金貳錢
六册(前金)	定價金參圓	郵税不申受
十二册(前金)	定價金六圓	郵税不申受

廣告料 一頁 金五拾圓 半頁は取扱不申

大正十四年八月廿五日印刷納本  
大正十四年九月一日發行

第四卷 第三號

不許複製  
禁轉載

編輯者 京師帝國大學理學部 地球學園

右代表者 藤田元春

發行者 大谷仁兵衛

印刷者 田中和一郎

印刷所 内外出版株式會社印刷部

## 發行所

京都市下京區西洞院通七條南  
西洞院七條南區

内外出版株式會社

振替口座 大阪三二九五番  
東京三九三一番

本所 京都市下京區西洞院通七條南  
出張所 京都市京橋區加賀町十番地  
販賣所 京都市神田區錦町一ノ十九

内外出版株式會社

## 所捌賣

東京 東屋堂 北隆館  
大阪 文館 誠堂  
神戶 寶文館 誠堂  
京都 共盛社 誠堂  
名古屋 マガジン 川瀨書店

# CHIKYŪ—THE GLOBE



---

Vol. IV. No. 3.

September, 1925

---

Depth and Nature of the Seismic Focus of the Northern Tajima Earthquake.....	
By N. Kumagai, <i>R. S.</i> .....	181
A tectonic Interpretation of Earthquake Phenomena in Eastern Asia (2).....	
By T. Ogawa, <i>R. H.</i> .....	195
Ancient Village System in Shikoku.....	
By S. Komaki, <i>B. S.</i> .....	208
Influence of the Kwantō Earthquake to Kōbe Harbour.....	
By M. Nishigame.....	217
Distribution of Magic in the World (3).....	
By K. Natsumi.....	224
Topographical Maps recommended for Schools (14).....	229
Topographical Survey in Kurile Islands and Hokkaidō.....	
By a Member to the Ordnance Survey.....	233
Discoveries on the Rio das Mortes.....	239
<hr/>	
Place Names of Korea (3).....	
By S. Nakamura, <i>R. S.</i> .....	243

---

Geographical Notes—New Books—Inquiries

---

Chikyū Gakudan  
Kyōto.